



## 新入職員のオリエンテーションを実施しました



### ◆医療機関で働くための、大切な研修となりました

新入職員に向けたオリエンテーション及び医療安全、感染対策研修会を実施しました。

医療安全研修は、患者さまが安心して医療を受けられる環境をつくるには、ただ単純に事故を防ぐのではなく、絶え間ない安全活動と管理、あらゆる状況に対応できる柔軟さを培う事が重要であるといった内容を中心に実施しました。

そして、感染対策研修では正しい手洗いや手指衛生、感染症別の予防から解除までの対応などを学びました。高齢者が多く集まる医療機関や施設では重要とされている基礎知識であり、病原体を持ち込まない、持ち出さない、拡げない対応の仕方を学びました。今後も定期的に研修を行い、対策の見直しや改善を行ってまいります。



## 医療機器安全管理研修会を実施しました

### ◆「いのち」をつなぐ栄養管理を、より安全なものへ

今回の医療機器安全管理研修会では、経腸栄養輸液ポンプ（以下、栄養ポンプ）の取り扱いについて、テルモ株式会社さまよりご指導いただきました。

栄養ポンプとは、病気により十分な栄養を自身で摂取することが困難な患者さまの栄養管理を行う際に使用する医療機器です。これを用いることで、より正確な注入量の調節ができるだけでなく、下痢や嘔吐、誤嚥などのリスク軽減が期待できます。

栄養は、免疫力の向上や機能回復、改善にもつながっており、人が生きていく上で欠かせない大事な要素の一つです。患者さまの栄養管理をより安全なものにするために、今後も医師と相談しながら導入について検討してまいります。



### ◆あじさいに関する雑学をご紹介します！

あじさいの由来は「真の藍色の花が集まって咲くこと」を意味する「集真藍」がなまったものであり、漢字の語源は唐の詩人「白居易」がお寺を訪れた際に見た紫色の花を「紫陽花」と名付けたことからという話が有名です。また、あじさいの学名は「ハイドラングア(Hydrangea)」といって、ギリシア語で“水の器”を表し『多量の水を吸収する植物』という意味があります。まさに梅雨にぴったりのお花ですね。

そんなあじさいは、土壌のph(水素イオン濃度指数)で色合いが大きく変わるのが特徴です。酸性なら青系に、アルカリ性なら赤系になります。(品種改良されたものは変わらないものが多い)そのため、火山地帯で雨が多く弱酸性の土壌が多い日本では青系や紫系、欧州ではアルカリ性の土壌が多いことから赤色系が多く咲くようです。(事務員R)

### 入院・転院のご相談

<空所情報>※6/7現在  
回復期病棟(0床) 療養病棟(0床)  
ホームページで確認できます

医療法人社団誠和会長谷川病院  
■地域連携部(MSW): 渡邊、山本、安部  
TEL: 043(444)0137  
FAX: 043(444)0257  
HP: <http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>